令和 5 年 5 月 12 日
（公財）海上保安協会

第４回「海上保安の日」俳句コンテスト各賞発表

海上保安庁は昭和２３年５月の創設以来、永年にわたり広大な海の平和と安全を守り続けています。海上保安庁の創設に際し、初代長官である大久保武雄氏により庁舎屋上に海上保安庁の旗「庁旗」が初めて掲揚されたのが５月１２日でした。この５月１２日が「海上保安の日」と定められており、この日を記念して、大久保武雄氏が俳人（俳号；橙青（とうせい））であったことにちなみ、昨年に続き、第４回「海上保安の日」俳句コンテストを開催いたしました。

応募部門を一般の部と高校生以下の部の二部門に分け、応募期間を令和 4 年 12 月 1 日（木）～令和 5 年 3 月 1 日（水）までの 3 か月間として募集した結果、一般の部 2,329 句、高校生以下の部 1,286 句、総数 3,615 句の投句がありました。

これを 10 名の選者が選考し、各部門それぞれ、大賞（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞）、特選、及び佳作の作品が決定されましたので、お知らせします。

＜入賞数＞

○　一般の部
　大賞　　３句（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞の各１句）
　特選　　８句
　佳作　７５句

○　高校生以下の部
　大賞　　３句（橙青賞、海上保安庁長官賞、海上保安協会会長賞の各１句）
　特選　１１句
　佳作　４７句

＜選者＞

大久保　白村　　審査委員長、（公社）日本伝統俳句協会顧問
岩岡 中正　　（公社）日本伝統俳句協会会長
大串　　章　　（公社）俳人協会会長
中村　和弘　　現代俳句協会会長
大高　霧海　　国際俳句交流協会会長
冨士　眞奈美　　俳人、女優
夏井　いつき　　俳人
岸　ユキ　　海上保安友の会理事、女優
稲畑　廣太郎　（公財）海上保安協会評議員、（公社）日本伝統俳句協会副会長
佐藤　雄二　　元海上保安庁長官

◇　一般の部　◇

《 大賞 》

○ 橙青賞（初代海上保安庁長官 大久保武雄 俳号）

去年今年絶ゆること無き巡視の灯	東京	伊勢　史朗

選評（岩岡 中正）

言うまでもなく「去年今年」（こぞことし）とは、年末年始とあわただしく年が去り年が来ることをいう。これは、年末年始もなく年中「絶ゆること無く」巡視船とその灯が私たちの安全を守ってくれていることへの敬意と感謝がこめられた一句。とりわけ、巡視の「灯」の明るい一点に、安全と信頼が象徴された秀句である。

選（大高 霧海、稲畑 廣太郎）

○ 海上保安庁長官賞

朝凪や水脈たくましき巡視船	三重	上村　和子

選評（稲畑 廣太郎）

夏の晴れた日の朝陸風から海風に入れ替わる時の無風状態が朝凪であるが、その穏やかな海の上を巡視船が疾走している。海面の静と、巡視船の水脈の動の対比を通して海保の仕事を明るく捉えている。

選（岩岡 中正）

○ 海上保安協会会長賞

国境はすべて海なり海保の日	神奈川	川越　羽流

選評（大串 章）

日本は周囲を海に囲まれた島国、国境は全て海上にある、例えば欧州のような陸続きの国境はない。そういう国であればこそ、海の平穏安寧は欠かせない。海上保安庁は永年にわたり、日本の海の平和と安全を守ってきた。

選（佐藤 雄二）

《 特選 》8句（各選者の特選句等：順不同）

① 特選

「平和とは」又問い直す海保の日	埼玉	西片　茂樹

選評（佐藤 雄二）

海保と平和を取り合わせた句が多数あった。おそらくロシアのウクライナ侵攻、中国の海洋進出、そして北朝鮮のミサイル発射の影響だろう。終戦後、海保は非軍事的な執行機関として設立され、隣接国とのトラブルが海上紛争に発展するのを避けるため、法に基づく対処により平和裏に収めてきた歴史と実績がある。今こそ、海保の真価が問われている時はない。この句はそのことを端的に表現している。

② 特選

大空に庁旗はためく海保の日	埼玉	松井　慶子

選評（大久保 白村）

庁旗はためくの「はためく」が良い。庁旗を決めた時の初代長官の気持ちを想った。

③ 特選

甲板に点呼跳ねゐる海保の日	石川	中津　正克

選評（夏井 いつき）

「点呼跳ねゐる」とは、なんと生き生きとした描写でしょう。「海上保安の日」の今日、いつもと変わらないはずの点呼に弾んだ空気を感じたのでしょう。敬礼の手や顔つきまでが想像されます。清々しく広がる五月の真っ青な海と空を背景に、明るく勇ましい点呼の声が響いています。

④ 特選

この海は平和の架け橋「海保の日」	東京	伊藤　芳宏

選評（大高 霧海）

「海保の日」に当り、詠者は巡視船が「この海」こそわが国にとって平和の架け橋とも言うべき巡視の対象であり、平和の維持を保つ任務を荷負っていると確認する。乗組員は常に「心・技・体ヨシ視界ヨシ」の気合と緊張を保持しなければならない。

⑤ 特選

タラップに無事故の靴音海保の日	愛媛	菅　宏史

選評（岸 ユキ）

靴音で無事故を表現した所がおもしろい。何かあったときの靴音も聞こえて来るようです。無事故の靴音に安堵感をおぼえます。

⑥ **特選**

土砂色の海の記憶や海保の日	福岡	堀　晃基

選評（中村 和弘）

東日本大震災の海が目に浮ぶ。地震とその後の津波で土砂、瓦礫が海に流れ、海が土砂の色になった恐ろしい光景。また異常気象による豪雨で流れ出た土砂が海を染める。海と陸は、実はいつもつながり関係している。そして海の安全は陸の安全でもある。

⑦ **特選**

灯台の光りはるかに島の春	島根	稲田　忠徳

選評（冨士 眞奈美）

巡視船内から見た風景に、平和を守る男の誇りが感じられました。

⑧ **特選**

海底にゴジラの地形海保の日	千葉	吉永 佳広

選（中村 和弘、冨士 眞奈美、佐藤 雄二）

《 佳作 》75 句

アホウドリの滑空美しき海保の日	神奈川	田中 由起
海保ヘリ冬の怒濤を裏返す	石川	沖野　晶子
海保の日艇庫大きく開け放つ	山口	秋山　玲子
敬礼の指まっすぐや夏の海	秋田	大友　和樹
スクリューの音に目覚めし海保の日	京都	本谷　眞治郎
ミサイルの飛び交ふ海や海保の日	静岡	村松　道夫
海保の日カレーのにほひ船に満ち	東京	秋本　茂雄
北斎のジャパンブルーや海保の日	東京	小林　和子
あおあおと未来の見える海保の日	千葉	山本　明
海こそが日本の砦海保の日	東京	築史　善正
海鳴りが言霊となる海保の日	神奈川	北村　純一
海鳴りを子守唄とし海保の日	石川	沖野　晶子
海の上薫風を連れ海保の日	神奈川	奥原　邦敏
海は知る日本のかたち海保の日	東京	内村　佳保
海防の誓い凛々しき日焼け顔	愛媛	菅　宏史
海まさを空まさをなる海保の日	北海道	藤林　正則
うみまるの敬礼すがた海保の日	北海道	石塚　清浩
笑む孫の未来託して海保の日	埼玉	森屋　多美子

オリオンの凍てつく海を行く海保	大阪	糀谷　雅子
海保の日青き地球の仕事人	岩手	佐藤　茂之
海保の日今も忘れぬ初任務	北海道	伊藤　佳織
海保の日大漁旗を舞ふ鳶	愛媛	菊地　矢恵
海保の日鋼びかりとなりて海	岐阜	田中　恭司
海保の日心・技・体ヨシ視界ヨシ	茨城	佐藤　邦夫
風五月白一線の挙手の礼	埼玉	関　としこ
海保の日橙青目指した日本へ	大阪	片木　威
海保の日波打ち際の子ら眩し	神奈川	佐藤　俊明
海保の日無性に海が見たくなる	静岡	望月　明子
救命に領海はなし海保の日	徳島	田野　利明
ぐぐががぐぐがが錨を下す海保の日	大阪	椋本　淳二（椋本　望生）
国動く世界見据える海保の日	愛知	山本　晃
氷海へ救命急ぐ海保ヘリ	東京	田中　正博
国土より領海広し海保の日	東京	曽根　新五郎
ごめ鳴くや海保の日てふ海原に	大阪	中尾　謙三
コンパスの旗翩翻と海保の日	千葉	安田　清一
寒怒濤蹴って疾走巡視船	兵庫	木内　美恵子
潮焼けの制帽目深海保の日	山形	庄司　芳彦
島国の千尋の海や海保の日	山口	中川　房子
生涯を灯台守や海保の日	北海道	藤林　正則
先人が護り今あり海保の日	東京	内村　佳保
灯台は母の眼差し海保の日	北海道	赤繁　忠弘
どの雲も母に見せたき海保の日	三重	岡田　あずさ
凪の海夏空映す海保の日	茨城	近藤　達也
入港を待つガスタンク海保の日	三重	橋本　加津子
春潮の小島へ渡る灯台船	愛媛	山本　隆啓
備忘録朱で書きとめる海保の日	青森	千吉良　岳
冬灯台一縷(る)のひかり道しるべ	宮城	鈴木　大
冬の海海保の船に星が降る	愛知	山田　和彦
ぽぽぽぽとぽぽぽぽとゆく海保の日	大阪	椋本　淳二（椋本　望生）
南風に庁旗なびかせ海保の日	愛媛	菅　伸明
引き継がるカレーレシピや海保の日	愛媛	久保田　裕之
穏やかに海上保安の日が暮れる	長崎	戸村　文夫
海のメドレー海保の日の楽隊	奈良	青居　舞
海ひとつ世界はひとつ海保の日	岐阜	稲川　正幸（染川　染幸）
海保の日顎ひも締めて気合入れ	愛媛	山下　司

海保の日決意新たな面構え	茨城	五十嵐　裕治
海保の日地球儀回す小さな手	兵庫	足立　有希
海保の日命を愛す星の下	京都	東　実加　（トウ甘藻）
事も無く過ぐる海上保安の日	千葉	安田　清一
汐木にも故郷のありぬ海保の日	大分	小野　智輔
巡視艇追う日焼けの子海保の日	神奈川	田中　和美
昇る日に決意海上保安の日	埼玉	三ツ矢　琴音
新緑の息吹芽生える海保の日	福岡	佐藤　真紀
深海のみたまのこゑや海保の日	群馬	外丸　幸子
船窓に塩の結晶海保の日	長崎	戸村　文夫
島国の海が平和で年明ける	宮城	奥山　雅治
島国の永き平和や海保の日	栃木	西園　多佳子
憧れを決意に変えて海保の日	東京	沼田　慎也
白南風にシーガーディアン波蹴りて	愛知	辻　栄春
風薫るおだやかな浜海保の日	岐阜	江崎　英樹
風光る甲板挙手の肘高く	埼玉	関　としこ
防人の歌詠み返す海保の日	東京	小林　和子
野分にも負けぬ心で守る海	大阪	荻野　直樹
龍天に登る海保旗翻る	千葉	石井　一草
凛々しきは白き雄姿や巡視船	千葉	小田中　準一

◇　高校生以下の部　◇

《 大賞 》

○ 橙青賞（初代海上保安庁長官 大久保武雄 俳号）

さんご礁百年先も海保の日	鹿児島	西　華織子

選評（佐藤 雄二）

さんご礁と海保の取り合わせが面白い句だ。さんご礁がなければ、二酸化炭素のバランスが崩れ、生物に大きな影響があると言われている。近年、地球温暖化の影響により貴重なさんご礁の生存が脅かされている。一方、海保は、戦後七十五年間、海上で起きた隣接国との様々なトラブルを法に基づいて平和的に収めてきたが、最近はこれらの国々からの圧力がますます増大している。今こそ、緩衝材としての海保の役割が求められているのだが、その存立も脅かされている。この句が訴えるように海保もさんご礁も百年先も存続してもらいたいものだ。

選（中村 和弘、岸 ユキ）

○ 海上保安庁長官賞

橙青の思い受け継ぐ海保の日	神奈川	塩見　耶摩斗

選評（大久保 白村）

橙青は初代長官　大久保武雄の俳号である。戦後、海上保安庁を創設した想いを偲ぶ。

選（佐藤 雄二）

○ 海上保安協会会長賞

大震災再度見直す海保の日	鹿児島	佐多　藍里

選評（冨士 眞奈美）

大震災の日、御家族と、水杯を交わし救助に向かう隊員さんに、深々と頭を下げて、どうぞ、お願いいたします！と思ったものです。

選（大高 霧海）

《 特選 》11 句（各選者の特選句等：順不同）

① 特選

海保の日海から平和が広がる日	鹿児島	山口　遥大

選評（大高 霧海）

海保の日こそ、わが日本において海洋の平和を再確認して日本の平和が更につづく。海保の日を大切にしてこそ、平和のわが国が譲られるのである。万歳。

選（佐藤 雄二）

② 特選

海保の日クジラが鳴らす平和の鐘	愛媛	兵頭　駿典

選評（岸 ユキ）

クジラが鳴らす平和の鐘って聴いてみたいけれど・・。世界中に響きわたるクジラの鐘の音をぜひ聴きたいものです。

選（大高 霧海）

③ 特選

海保の日海の主ご神ゆうゆうと	埼玉	鈴木　敦士

選評（岩岡 中正）

「主ご神」とは、もちろん「守護神」のこと。わたしたちの海を守る「海保」を素直に「守護神」と自分のことばで表現できた。さらに、その守護神である船が「ゆうゆうと」航行している姿をよく写生していて、安心感と信頼感が伝わってくる。

④ 特選

海保の日鯨潮吹き祝ひけり	岐阜	山東　悠乃

選評（大串 章）

鯨が潮水を噴き上げ「海保の日」を祝っている。おもしろい。ところで、「鯨の潮吹」は写真やイラストでよく見かけるが、実はこれは潮水ではなく「クジラが鼻孔から吐いた呼気中の湿気が、潮水を吹き上げるように見えること」（広辞苑）だという。成程、そうだったのか。

⑤ 特選

夏の空青く輝く海保の日	愛媛	三好　里萌

選評（稲畑 廣太郎）

海保の日は海の安全を願う日でもありますね。夏の心地よい風もふいていたのかも知れませんが、そんな中ふと空を見上げると青く美しい夏空が広がっていました。とても広い景色が描けています。

⑥　特選

海保の日サンドイッチの香ばしき	愛媛	青山　和加

選評（夏井 いつき）

　きらめく海を前に食べるサンドイッチの香ばしさ。潮の香に混じる焼けたパンの香りがなんとも美味しそうです。もしこのサンドイッチが、海保カレーならぬ、海保名物のサンドイッチであったとしても、それもまた楽しい一コマです。今日は「海上保安の日」なのですから。

⑦　特選

とびうおが空中さんぽ海保の日	福岡	小野　晴大

選（岩岡 中正、大高 霧海、冨士 眞奈美、稲畑 廣太郎）

⑧　特選

海保の日君とおそろい日焼け跡	愛媛	水谷　謙吾

選（中村 和弘、岸 ユキ、稲畑 廣太郎）

⑨　特選

知床の捜索続く海保の日	岐阜	荒木　千尋

選（中村 和弘、夏井 いつき、佐藤 雄二）

⑩　特選

若葉風まとひ訓練保安官	兵庫	武田　奈々

選（中村 和弘、冨士 眞奈美、稲畑 廣太郎）

⑪　特選

水練のしづか海上保安の日	愛媛	田邊　広大

選（大久保 白村、夏井 いつき、稲畑 廣太郎）

《 佳作 》47句

青嵐負けずに進め巡視船	神奈川	塩見　耶摩斗
卯波立つ水平線と巡視船	沖縄	島本　青波
海と人どちらも守る海保の日	鹿児島	武元　夏希
海の希望僕らの未来海保の日	鹿児島	祝迫　瑠花
海のことみんなで学ぶ海保の日	鹿児島	上山　夏音斗
穏やかに薫風そよぐ海保の日	愛媛	中根　実花
オホーツク海きらめく星や海保の日	岐阜	山東　悠乃
海保の日海を愛して海守る	鹿児島	高橋　徠聖
海保の日梶を回して波立ちぬ	大阪	山田　憲進
海保の日並んで食べるかきごおり	愛媛	山本　柚奈
海保の日日本がほこれる平和の海	鹿児島	岩川　佳穂
海保の日浜辺に一人海想う	鹿児島	畠野　圭司
海保の日夕暮れ時の海鏡	愛媛	畠山　葵衣
敬礼を海に向かって海保の日	鹿児島	中島　琉偉
平和だと海もよろこぶ海保の日	福岡	稲毛　凛
まぐろ丼たくさん食べる海保の日	神奈川	後藤　奏太
海上はうねるうねるや海保の日	愛知	中澤　琥太郎
海保の日海と父とを重ねたり	東京	寺田　拓未
月光の泳ぐ海原海保の日	茨城	加古　まゆな
荒波にたちむかう船海保の日	愛媛	矢口　由悟
美しい国土を守る海保の日	鹿児島	川口　釉華
海鳴りの平和を守る海保の日	静岡	榊原　凰月
海保の日生き物同士助け合おう	鹿児島	中尾　真奈実
海上の平和を祈る保安の日	鹿児島	染川　優斗
海保の日水平線と乱反射	福岡	高島　滉晴
海保の日海が広がるどこまでも	愛媛	井上　泰輔
海保の日海と心がつながる日	福岡	河喜多　優空
海保の日海に安らぎ永遠と	鹿児島	橋口　颯聖
海保の日海の中には何がある	鹿児島	寺師　潤
海保の日大きく手を振り日の沈む	岐阜	柚原　一穂
海保の日輝やく海を永遠に	鹿児島	坂口　はな
海保の日コンパスマークに誓いを立てて	鹿児島	宝満　栞那
海保の日すてきな海ですてきな日	福岡	古賀　豊士
海保の日世界のルール知る機会	鹿児島	住本　愛恵
海保の日めでたい夏がやってきた	鹿児島	長野　悠人

海保の日歴史を感じる記念日だ	滋賀	志村　俊祐
急がしい海はじたばた海保の日	鹿児島	有馬　ヒナタ
心地よい五月中旬海保の日	愛媛	山口　永遠
心から海と向きあう海保の日	愛媛	柏山　結衣
コンパスの示す明日や海保の日	兵庫	武田　奈々
セーラーを干しに行きたる海保の日	愛知	角田　光
友達と笑顔で泳ぐ海保の日	愛媛	宇都宮　永汰
夏の海キラキラひかるじゅんしせん	茨城	小礒　道允
ぽっつりと青い海行くじゅんし船	埼玉	鈴木　敦士
もう誰も壊せぬ地球海保の日	愛媛	安野　快
敬礼に警護の心海保の日	長野	横内　柚樹
友達におはようと言う海保の日	神奈川	後藤　奏太

【本件問合せ先】
公益財団法人海上保安協会「海上保安の日」俳句コンテスト係　小平、新井

〒104-0033　東京都中央区新川 1-26-9　新川イワデビル 7F
TEL：03-3297-7589　　FAX：03-3297-7590